

日本の竹ファンクラブ通信

編集・発行 日本竹類総合研究所・特定非営利活動法人日本の竹ファンクラブ
 横浜市都筑区中川1-5-19 プロミネンス14-304号 TEL&FAX: 045-306-9993 MAIL: office141@takefan.jp
 URL: http://takefan.jp
 現在の会員数 正会員 129 名/準会員 8 名/賛助会員 個人 17 名・団体 2・法人 3 (竹取協力隊 121 名)

世界で脱プラ加速、竹も一役！

化石燃料由来プラから植物由来への転換始まる

近年プラスチックごみによる海洋汚染対策が課題になっています。廃棄されたプラスチックが海に流れ込み鳥や魚など生態系への悪影響が問題視されているためです。世界ではレジ袋やストロー等使い捨てのプラスチック製品を禁止する動きが加速しています。企業や環境団体でも脱プラに向け動き始めました。時代が化石燃料由来から植物由来へ転換する中、竹ファンクラブも竹を通じて身近な所から脱プラに貢献できたらと思います。

1. 廃プラ海洋汚染深刻化

プラスチックごみによる海洋汚染の問題はかつてないほど高くなっています。世界経済フォーラムによると海に流出するプラスチックは最低でも年に800万トン。海を漂うプラスチックは1億5000万トンを超すといわれます。最近問題になっているのが、「マイクロプラスチック」と呼ばれる海を漂う間にごみが砕けてできる微細な破片で魚などが食べると有害物質が体内で蓄積・濃縮され問題視されています。

2. 加速する脱プラの動き

EUは30年までに使い捨て

てプラの全廃を打ち出し、他に60以上の国や地域が全廃

や使用削減に動いています。日本も、来夏までに使い捨てプラスチックの総合的な戦略「プラスチック資源循環戦略」を策定予定です。骨子は①使い捨て容器包装などの削減②使用済みプラの徹底的な回収とリサイクル③植物を原料にしたバイオプラスチックの開発と化石燃料由来のプラからの転換策の3本柱です。

3. 見直される天然素材

時代が化石由来から植物由来へ転換する中、竹の出番はあるのだろうか。

包装材は紙、段ボール、プラスチック、ガラス金属等多岐に渡りますが、食品の包装材に限れば殆どが石油性のビニールやトレイといったプラスチック製品です。かつて食品の包装材といえば天然資源の竹皮が万能の素材として使われていました。1970年代スーパーやコンビニでプラスチックが使われるようになり姿を消してしまいました。脱プラの時代を迎え、抗菌作用と通気性に優れた竹皮が弁当や肉、魚などの包装材、食品の敷き皿として主婦の間で再び見直されており、竹皮活

用も有望分野とされます。

4. 生分解性プラスチック

企業等では「生分解性プラスチック」と呼ぶ新素材の開発に拍車、すでに竹の歯ブラシなどが誕生しています。当会でも昨年から竹バイオマスプラスチックの活用を検討してきました。使い捨てを前提に、定期的に取替えが必要な日用品を中心に、化石資源に依存しない竹繊維で作るカップやスプーンなども脱プラ転換に有効と思われます。

海のプラスチック問題は地球温暖化と同様、一国の取り組みだけで解決する問題ではないが、時代に寄り添い身近な所から削減を考えるきっかけ作りができたと思います。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

5月26日、参加者は竹林内の整備班とチップー班の二班に分かれ作業をしました。チップー班は

二の丸奥階段を下りたところからメイン会場(F)に続く小路の四ツ目垣の対面の竹穂垣が長い間風雨にさらされ見栄えが悪く撤去し、トラロープを張り、チップー作業も並行して進めました。この

日の作業は何とかメイン会場手前まで終えることが出来ました。整備班は若竹の伐採、枯れ竹の処理を第三(J)エリア近く迄の整備が進みました。

お昼時には、倉庫周辺の竹から竹水を取水し午後の作業の力水として、飲みました。

6月23日、雨模様の中、前回のチップー作業の続きと施肥作業を行ないました。第三エリアと筍畑は管理コースの受講生にお願いし残りの各エリアに化成肥料、硫酸を施肥

横浜国際プール支部

しました。昼時近くには雨が降りだしシートを張り雨除けとして何とかしのぎました。

今年前半の最終日、チップー機を車庫に格納すべく移動しました。雨でぬかるんだ地面に本体が沈みかけたりしましたが、人力を加えて脱出し格納庫へ到着しました。

作業終了後は、会場を新横浜駅近くの居酒屋に移し管理コース受講生と協力隊合同で暑氣払いを開催しました。前半の作業お疲れ様会でした。9月からの参加をよろしく願います。

担当…真板保昌



活動日 5/26, 6/23 延参加者: 23 名

梅雨入りの6月早々は細い若竹処理とマダケ林内の遊歩道で草刈りをしました。毎年のことながら6月から8月までの元気な雑草はノコギリで！また極細竹は植木の剪定鋏で難なく処理ができます。サブプール際の急斜面の法面上部肩近辺には、これまたクズの蔦が見事に蛇のごとく竹稈に絡み付いて、とぐろを巻き上へ上へと伸びます。これは下方で切断するのと、お元の地中から出た部分も切断します。午前中に馬力を掛けた作業は昼前でおわり、年に一回の屋食会をおこないました。いつも利用している地元のおそば店で12名が屋食懇親となり時が過ぎて行きました。国際プール事業への協力は7月にロビー柱の周囲に七夕用の細マダケを8〜10本取り付け、こどもたちの祈り短冊がたくさん付きまし

こどもの国支部

こどもの国には種々な竹林があり、4月は孟宗の筍、5月淡竹、6月苦竹の筍が地表から顔を出します。

5月22日は淡竹(ハチク)林の密度管理を行うため筍の間引きを行いました。さすが美味しいと言われる淡竹の筍はいつもの通り虫に食われていました。



6月12日、真竹林の密度管理を行いました。全般的に竹の切り過ぎ傾向にあるので気を付けていましたが、太い竹が少なく、また、筍の出も少なかったです。

6月26日は夏休み前

の最後の活動日で、作業は午前中のみ午後からはこどもの国の施設を借りて反省会と親睦を兼ねてBBQを行いました。



反省会では貴重な意見があり、そして一年間、怪我もヒヤリハットもないことに感謝し淡竹のかっぱ酒で乾杯！！今回は女性軍が数日前より献立や加工処理をして頂いた。また「水羊羹」「さくらんぼ」の差し入れもあり、皆さんと一緒に楽しく過ごし、こどもの国をあとにしました。

担当…中元秀幸

活動日 5/22, 6/12・26 延参加者: 63 名

中井町支部

6月9日は「マダケのたけのこ狩り」のイベントを行いました。

当イベントは、前年度より、中井町役場前に集合してたけのこ狩りが終われば現地解散で、コースは中井役場より半分形竹林間は徒歩で往復する企画でした。しかし前年同様大半が車での参加者でしたので、車で移動致しました。

収穫量は前年より多少少なめでしたが、参加されました皆様にはたけのこ狩りの醍醐味を体験頂き、お持ち帰りの本数もご満足頂きました。



また、車での移動でしたので、解散時間も予定より早くなりました。

6月21日の活動は、フィールドの中心より南側下の再整備区域を中心に、間伐・運搬・焼却・チップ処理等の作業と、9月より作業を行う予定の区域（フィールドの中心より南東方向で4〜5年前に整備した区域）の道普請作業を行いました。

なお、中井町の活動日は、木曜日を中心に行っています。皆様のご協力を頂き、中井町の竹林管理の継続に努めますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

担当…石川正壽



活動日 6/9、21 延参加者 24名

伊豆の国支部

5月19日、6月16日

に伊豆の国市韮山地区の金谷で作業を行いました。が神奈川県からそれぞれ9名、7名が参加、一方で伊豆側からは各7名、6名、それに市役所の職員の方々が7名参加されました。

もう初夏の風が吹く中、孟宗竹や真竹の新竹の駆除と数年前の廃材処理を行いました。

2台のチップパー機が唸りを上げる中、皆さん汗と埃だらけの苦闘でした。しかし、ひと月もすると皆様の苦闘が、前回の廃材置き場跡を、緑の山に変身させるでしょう。

その中でミヨウガの新芽が吹き出し、その白い茎が美味なることを発見し感激しました。

手入れされた春から夏の里山は宝の宝庫で、また秋とは異なる趣があります。

担当…五十川健郎



活動日 5/19、6/16 延参加者 36名

都筑折本

5月は密度管理。

一般参加の筍掘りで相当な本数を掘りましたが、その後も沢山生えて来ており竹林の境界部、上部の休憩エリアを中心に密度管理として高く伸びたものを振り落とし法による先止めや除伐をおこないました。

放置竹林が日本の竹ファンクラブの手で見事に整備された今年は、おもて年ということもあつたが感動の出筍の多さで親竹として残す物は予定通りに管理できたことが印象に残りました。

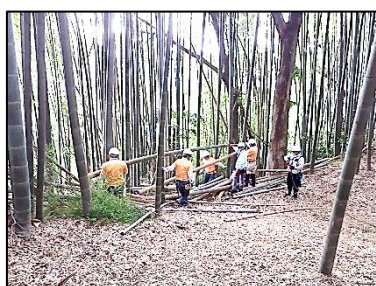
梅雨入りが明日かという夏休み前最後の6月は参加者が少なく、西側の隣地境界部と上部休憩エリアに続々と出てくる細い貧弱な若竹を伐採して景観を整えました。やはりこの平坦地は面積が小さくても超急斜面エリアと違い、地下茎に掛かるストレスも少ないのです。

ようか、筍掘りの時も、

ほぼここだけでまかなえました。これで次回の再開からは、いよいよ年間管理計画サイクルの初弾、古竹を間伐します。このフィールドでは何十年か振りとなるでしょう。この春に親竹として残し育てたのと同数量だけ古い順に伐ります。さらにのり面に置いた足場用の竹も一部の古いものをその時に伐った竹に入れ替えることも予定します。

11月4日（日）にはみなさんとの再会がたのしみです。

報告…山根泰裕



3 活動日 6/5 参加者 2名

竹林管理コース

今回は第3回目、「竹林の管理と育成」を小机地区センターで学びました。午後には、実習のため小机城址市民の森へ向かいました。しかしセンターを出る頃から、雨がポツポツと降ってきて、テンションが大いに下ります。昼食後、城址全体を巡回しながら不要な若竹を伐採しました。竹林内では余り雨を感じることもなく、今年の沢山の出筈に感謝してお礼肥を行いました。硫安20kg入り4袋と化成肥料20kg入り4袋を撒きました。今回は米糠ではなかったのですが、花咲じいさん宜しく手に持って全体的にばらまいて、来年の沢山の出筈を祈りました。

報告… 榮 千彰

■第3回6月23日
講義:竹林の管理と育成
実習:若竹の伐採とお礼肥
講義場所:城郷小机地区センター
実習場所:小机城址市民の森
講師:平石眞司
参加者:8名

本郷台アオソラマルシェ

2018年7月14日
横浜市最南最西端の地、栄区での「本郷台アオソラマルシェ」に竹ファンメンバー5名で初出前講座。最高気温33度の猛暑が予想される中で準備開始。周りには地元野菜の販売テントや、栄区交流都市の名物料理が出す美味しそうな香りが漂う中、少し異色の雰囲気を放つ竹ファンブース。



●竹ファン直伝コーナー
……手作りカッコウ笛、ウグイス笛、ブンブンコマ、スーパー竹トンボ、横笛



●置いておくので勝手に遊んでねコーナー
……竹ぼっくり、水鉄砲、紙鉄砲、水笛、太い竹ほら横笛、ギリギリガリガリトンボ

徐々に人が集まり始め、時には順番待ちの列が出来るほどの大盛況！子供たちは、キラキラした目で、楽しそうに竹細工作りや、慣れない竹遊具でお遊び……
中には、長い時間スタッフのそばから離れず、笛の吹き方を教えてもらう子供もいたり……。大人たちは、昔を懐かしみ、自分達の町内会活動に役立てようと真剣に勉強する方がいたり……。そんな大賑わいになってきたブースと足並みを揃えるように、気温もグングンと上がり始め、汗が止まらない！塩分切れだ！隙を見ての水分・塩分補給。昼食も早々に切り上げ、テントに戻り、5時間にわたる立ちっぱなしの活動。結局、他のテントを覗いたり、名物料理を食す時間も無く、マルシェ自体を楽しむことは出来なかったが、たくさんさんの笑顔やありがとうの言葉、また差入れまでもらい、充実した時間。終了時には、用意した約120個の竹細工がほぼ無くなるほどの、大・大・大成功！また来年も同じ場所、多くの人に会うことが出来るかなあと、差し入れの飲み物を飲みながらホッと一息ついた一日でした。

報告: 清木優美子

「竹と遊ぼう」横浜国際プール 水鉄砲作り

水鉄砲講座を、8月11日と18日に、出前しました。それぞれ小学生10名と12名の参加でした。まず作り方の説明があり、3組に分かれ、スタッフがフォローして始まりました。鋸やキリを使うので、けがをしないよう注



に、スポンジを巻き直して完成させた子とそれぞれでした。お母さんの中には、本当にあなたが作ったの？と我が子の事が信じられないという方もいました。3階の広場でペットボトルの標的を倒したり、水かけっこで大騒ぎ、暑さの中、楽しそうに走り回っていました。スタッフのKさんは子供たちの集中攻撃に会い、ずぶ濡れでした。最後にカビが生えないよう、日陰でよく乾燥させてから保管するように、指導があり解散しました。

報告… 荻原三男



朗報

7月19日製造所検査を受け
横浜市保健所長 7月20日
付の営業許可通知書と営業
許可証が発行されました。

※営業所の名称
特定非営利活動法人
日本の竹ファンクラブ
※営業の種類
そうざい製造業



(仮称) 横濱・筍からするめの製造販売が可能となり、皆様へ美味しい竹するめをお届けします。これにより、「国民一人、あと1本筍を食べよう!」のキャッチフレーズに繋げて、放置竹林の解消を目指しましょう。

「竹灯籠まつり」に参加しましょう!

本年も下記の通り「竹灯籠まつり」を開催します。準備も含め作業日数が非常に多くなっています。出来るだけ多く参加して下さいようお願い致します。

- 10月27日(土) 第15回小机城址市民の森
「竹灯籠まつり」(雨天の場合翌28日に順延)
- 実行委員長: 山根泰裕、副委員長: 真板保昌・木野内俊雄・荻原三男のもと開催します。
- 前日・当日のスタッフ募集中です(詳細別紙)。
お手伝いいただける方は同封の申込書に必要事項を記入の上事務局までお申込み下さい。
- 物販(竹関連品)及び飲食店受付中(会員限定)
出店ご希望の方は、店・品名と提供予定数を、事務局までお申し込み下さい。



◆オールスター最年長登板記録更新の上原投手が、ランナーを背負うもバを0点に抑え、元気一杯笑顔でブルペンへ戻った◆元気年齢や平均余命なることばが頭をよぎり、人生100年時代に突入したいを振り返れば1947年から1949年誕生の第一次ベビーブーム団塊世代が定年を迎えた時代が11年から9年前のこと。元気年齢と平均余命差が小さくなり定年延長や再雇用・再就職で現役続投の方が多かった◆クラブの会員数はその3年間はそれまでの緩やかな上りカーブが止まり、2011年をピークに下降が始まり80名の減少となった◆年齢構成は32歳から87歳、平均年齢67.2歳は昨年から1.2歳増えたが日本の5歳区切り人口の最多が65~69歳、クラブは更に70~74歳も同数、竹林マウンドで元気だ。

ハチに注意

夏から秋にかけて活発化する蜂に注意しましょう。

- ①作業時の黒い服装は、敵と認識される危険性が高いので避けましょう。
- ②香水は蜂を引き寄せるため、事故防止のため避けましょう。
- ③近寄ってきた蜂への対応は、手で払ったりしないでじっとしましょう。(蜂を刺激しない行動)
また、姿勢を低くしてゆつりとその場から遠ざかりましょう。
- ④蜂に刺されたときは、刺された箇所を水でよく洗い冷やしましょう。
- ⑤スズメバチに刺された場合は、必ずポイズンリムーバーで毒液を吸いだし、病院で治療を受けましょう。

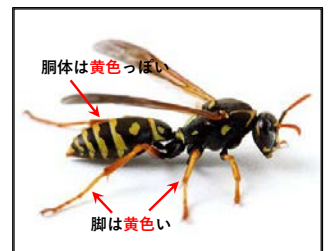
※ スズメバチの特徴

胴体はオレンジ色っぽい。
脚は黒いタイプが多い。
巣はマーブル模様で丸い球状が何層にも重なって茶系の色
巣の場所は、土中、床下、
屋根裏、木の洞等。竹林では、朽ちた横にした土留兼足場の竹や草で覆われたのり面に巣がある。



※ アシナガバチの特徴

胴体は黄色っぽい。
脚は黄色いタイプが多い。
後脚をだらりと垂らし、フラフラと飛ぶ。巣は六角の巣穴が丸見えで、お椀の様な形。軒下や木の枝等に作る。



桐蔭横浜大学のサービ斯拉ーニング

本年度秋も2名の学生の参加が決まりました。
10月6日(土)から10月28日(日)まで6日間です。若い力との協働で、皆さんと共に竹林保全の意義や原風景の素晴らしさを感じてもらいましょう。

新入会員紹介 下線は竹取協力隊入隊者 ◆なし

<活動報告>

- 7月14日 栄区本郷台アオソラマルシェ竹細工
出前講座
- 7月19日 竹するめ製造施設検査合格
- 8月2日 そうざい製造業営業許可証受領
- 8月11日・18日 横浜国際プール 水鉄砲講座
- 8月26日 理事会・通信秋号 NO.75 発行

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動

※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい

10月6日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹灯笼作り 10:00～15:00
10月7日(日) 協力隊	小机城址市民の森 竹灯笼作り 10:00～15:00
10月8日(月祝) 協力隊	伊豆の国市 韮山 竹林の間伐 10:00～15:00
10月9日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00～15:00
10月11日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
10月13日(土) 協力隊	小机城址市民の森(要事前申込み) 竹灯笼作り 10:00～15:00
10月14日(日) 協力隊	小机城址市民の森(要事前申込み) 竹灯笼設置 10:00～15:00
10月20日(土) 協力隊	小机城址市民の森(要事前申込み) 竹灯笼設置 10:00～15:00
10月21日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森(要事前申込み) 竹灯笼設置 10:00～15:00 竹林の間伐・竹灯笼設置
10月23日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00～15:00
10月26日(金) 協力隊	小机城址市民の森 まつり前日準備 10:00～15:00
10月27日(土) イベント	小机城址市民の森(要事前申込み) 第15回竹灯笼まつり 9:00～21:00 (予備日 28日)
10月28日(日) 協力隊	小机城址市民の森 10:00～12:00 まつり材片付け(午前中・予備日 29日)
11月4日(日) 援農隊	都筑折本 竹林の整備 10:00～12:00
11月8日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00

11月10日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 10:00～15:00 竹灯笼集積割りとチップ化处理 竹林の調査と間伐・竹垣改修(竹穂垣)
11月11日(日) 協力隊	伊豆の国市 韮山 竹林の間伐 10:00～15:00
11月13日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00～15:00
11月17日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐 10:00～15:00
11月22日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
11月23日(金祝) イベント	中井町(要事前申込み) 竹林の間伐とみかん狩り 10:00～15:00
11月25日(日) 協力隊	小机城址市民の森 10:00～15:00 竹灯笼割りとチップ化处理
11月27日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00～15:00
12月2日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 10:00～15:00 竹灯笼チップ化と間伐(竹垣材づくり)・寒肥 竹林の間伐・冬の施肥
12月8日(土) 協力隊	小机城址市民の森 10:00～15:00 竹灯笼チップ化と間伐(竹垣材づくり)
12月9日(日) 協力隊	伊豆の国市 韮山 竹林の間伐 10:00～15:00
12月11日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00～15:00
12月13日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
12月15日(土) 協力隊	横浜国際プール 10:00～15:00 竹林の間伐(竹垣材)と冬の施肥
12月20日(木) 援農隊	都筑折本 10:00～15:00 竹林の間伐とチップ化处理

竹に関する情報がありましたら、どんなことでも結構です。下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993